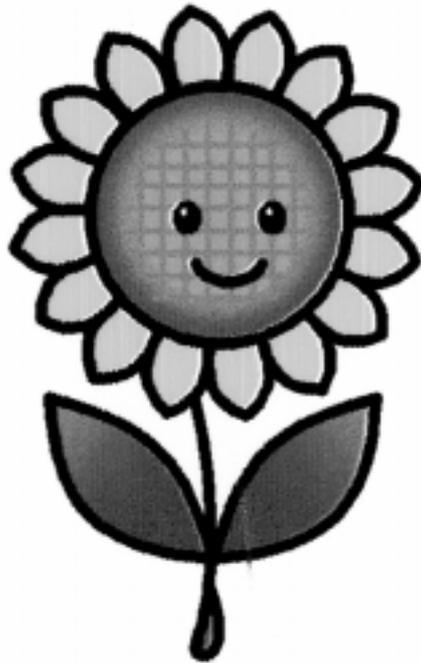


第3章．みどりの将来像



第3章．みどりの将来像



【第3章のポイント】

- ・西東京市のみどりの将来像を、『みどりに包まれたまち「西東京」』とします。
- ・みどりのまちづくりの目標を、「みどりを守る!」「みどりを創る!」「みどりを活用する!」という3つの視点に類型化し、「環境保全」「レクリエーションとふれあい」「防災」「地域のシンボルと景観要素」という緑地のもつ多様な機能に留意しながら、みどりのまちづくりを進めていきます。
- ・将来の西東京市は、「みどりのシンボル拠点」「みどりのミニ拠点」「みどりのシンボル軸」「散歩道のネットワーク」「水辺のネットワーク」「みどりの住宅ブロック」といった要素から、有機的に構成することを目指します。
- ・将来にわたって、現在の緑被率（市全体の面積に対するみどりに覆われた部分の割合。おおむね30%）を維持していくことを目指します。

3 - 1 . みどりの将来像

西東京市の将来の理想像を、旧市の「みどりの基本計画」や、「西東京市総合計画」「西東京市都市計画マスタープラン」などの上位・関連計画を踏まえて、次の通りとします。

これは、前章で整理した「みどりに関わる課題」を解決し、市行政と市民の将来に対する想いを、緑地保全・緑化の観点から表したものです。

みどりに包まれたまち「西東京」

比較的豊富なみどりが残されたまちとして、その保全・再生に努めることで、みどりが散見される西東京市ではなく、みどりがあふれ、みどりに包まれていると実感できるような、西東京市の実現を目指します。

特定の場所に出かけなくとも、日常生活の中でみどりに気軽にふれあうことができるような姿を理想とし、その実現を目指します。

行政と市民が、適切な役割分担を確立して、互いの協力と連携により、みどりのまちづくりを進めます。

具体的には、次のような姿を作り出すことを目標とします。

古くから営まれてきた、西東京市らしい豊かなみどりの空間が大切に残され、充実されている。

新市の顔となる、みどりの拠点や軸が形成されている。

市内のそれぞれの地区に、個性あるみどりの空間が広がっている。

みどりを大切に守り育てる市民が暮らし、行政が力強く支援している。

3 - 2 . みどりのまちづくりの目標

「3 - 1」に示した「みどりの将来像」を実現するために、「みどりを守る!」「みどりを創る!」「みどりを活用する!」という3つの視点を「みどりのまちづくりの目標」として掲げます。

また、それらの取り組みは、「環境保全」「レクリエーションとふれあい」「防災」「景観形成要素・地域のシンボル」といった、みどりをもつ4つの主要な機能に着目して、いずれかに偏ることなく、総合的な視点で進めていくものとします。

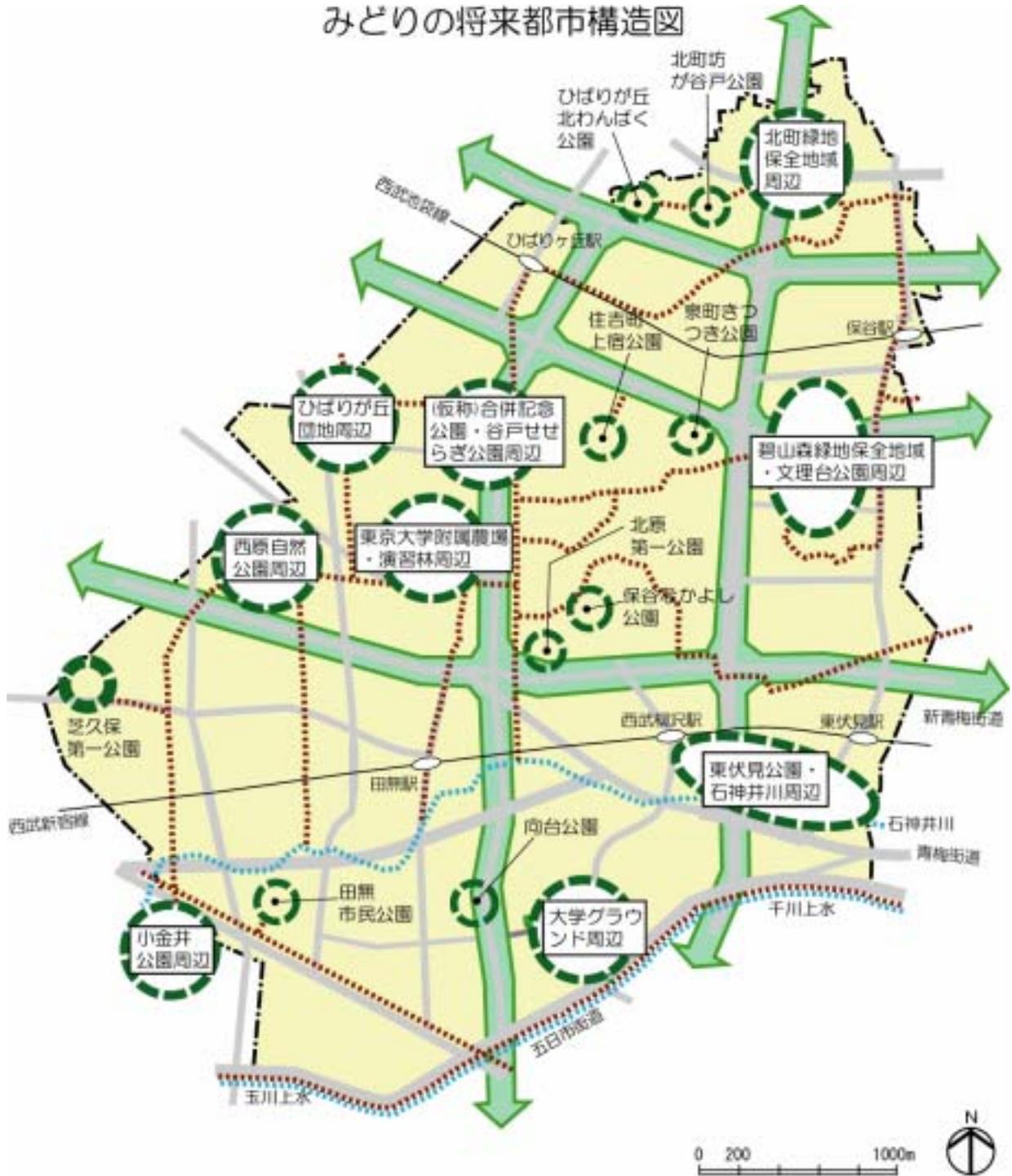
【目標】	【みどりの機能・種類】			
みどりを 守る!	環境保全の ためのみど り	レクリエー ションとふ れあいのた めのみどり	防災のため のみどり	景観形成要 素・地域の シンボルと してのみど り
みどりを 創る!				
みどりを 活用する!				

3 - 3 . みどりの将来都市構造

市全体に同じような施策を進めていっても、望ましいまちにはなりません。
市内のそれぞれの区域や道路・河川などが、様々なそして適切な役割を果たすことで有機的で魅力あるまちが形成されていくこととなります。

その観点から、西東京市の「みどりの将来都市構造」を、次のように描きます。

みどりの将来都市構造図



凡 例			
	みどりのシンボル拠点		みどりのシンボル軸
	みどりのミニ拠点		散歩道のネットワーク（構想）
	幹線道路		水辺のネットワーク

【将来都市構造の形成要素】

西東京市のみどりの将来の望ましい構造を、「拠点」「軸」「ネットワーク」「みどりの住宅ブロック」から形成するものとします。

みどりのシンボル拠点：特に根幹的・象徴的なみどりの拠点

みどりのミニ拠点：主要な公園

みどりのシンボル軸：街路樹や植栽の充実を図る広域幹線道路

散歩道のネットワーク：市内各所を巡るみどり豊かな生活道路等

水辺のネットワーク：主要な河川や水路

みどりの住宅ブロック：「みどりのまちづくり」の単位となる生活圏

みどりのシンボル拠点

東京大学附属農場・演習林周辺

市のほぼ中央に位置するみどりの核、中心地として、東京大学附属農場・演習林とその周辺を位置づけます。

この周辺では、特にまとまったみどりの保全と創出を図り、市のシンボルとなるようなみどり豊かな区域づくりを目指します。（以下の「みどりのシンボル拠点」についても同様です。）



東京大学附属農場・演習林

（仮称）合併記念公園・谷戸せせらぎ公園周辺

市の中央やや北側に位置する比較的新しいみどりの核、中心地として、東大原子核研究所跡地に整備中の（仮称）合併記念公園や、明治薬科大学跡地に整備された谷戸せせらぎ公園とその周辺を位置づけます。



谷戸せせらぎ公園

ひばりが丘団地周辺

市の北西部に位置するみどりの核、中心地として、ひばりが丘団地とその周辺を位置づけます。

北町緑地保全地域周辺

市の北東部に位置するみどりの核、中心地として、北町緑地保全地域とその周辺を位置づけます。



碧山森緑地保全地域

碧山森緑地保全地域・文理台公園周辺

市の東部に位置するみどりの核、中心地として、碧山森緑地保全地域、文理台公園とその周

辺を位置づけます。

西原自然公園周辺

市の北西部に位置するみどりの核、中心地として、西原自然公園とその周辺を位置づけます。



西原自然公園

小金井公園周辺

市の南側行政界付近に位置するみどりの核、中心地として、小金井公園とその周辺を位置づけます。

大学グラウンド周辺

市の南部に位置するみどりの核、中心地として、武蔵野大学・東京三菱銀行グラウンドとその周辺を位置づけます。



千駄山広場

東伏見公園・石神井川周辺

市の南東部に位置するみどりの核、中心地として、東伏見公園、石神井川とその周辺を位置づけます。

みどりのミニ拠点

既存の中規模公園を、「みどりのミニ拠点」として位置づけ、「みどりのシンボル拠点」に準ずるような、まとまったみどりの保全と創出を図ります。

みどりのシンボル軸

西東京市のシンボル軸となる、新青梅街道・調布保谷線などは、みどりの観点からも、特に積極的に街路や沿道での緑化を進めていきます。

これにより、市のシンボルとなるような道づくりを目指します。

散歩道のネットワーク

「みどりのシンボル軸」に準ずるものとして「散歩道のネットワーク」を定義し、沿道の緑地保全や緑化、道路上のデザインの工夫などにより、みどり豊かで快適な生活道路網の形成を図っていきます。

水辺のネットワーク

石神井川沿いは「水辺のネットワーク」として位置づけ、市民が水辺と楽しめるような河川の整備や周辺の緑化などを進めていきます。

みどりの住宅ブロック

幹線道路や鉄道で囲まれた区域を「みどりの住宅ブロック」として、緑化まちづくりの単位と考えます。

各々で、個性をもった緑化まちづくりを検討し進めていくものとします。

3 - 4 . 数値目標

西東京市のみどりを、将来どの程度に保ちまた増やしていくかということに関して、数値目標を示しておくことが重要であると考えられます。

その観点から、おおむね平成35年における「緑被率」について目標値を示します。

緑被率（市全体の面積に対するみどりに覆われた部分の割合）は、現在のおおむね30%を維持します！

公園の整備や緑化を進めても、相続や宅地開発などにより、市内のみどりが減少していくことには、ある程度やむを得ない面があります。

しかし、それらを相殺した時、現在のおおむね30%の緑被率を維持していくことを目標とします。